

# 青垣

第17号 発行日 平成20年11月4日

雲南市立吉田中学校だより

## 緑の少年団活動 枝打ち 間伐 を体験 ～ 森林資源を愛し守り育てる～

吉田中学校「緑の少年団」のメイン活動である「枝打ち・間伐体験学習」を10月23日(木)に、学校近くの学校林で実施しました。この活動は、ふるさと吉田を誇りに思い、森林資源を愛し守り育てることや、作業を通して勤労の尊さを感じ取ることをねらいに、生徒会の四大大行事(体育祭 文化祭 予餞会 本事業)の一つとして実施しています。

枝打ち・間伐体験活動は、平成元年吉田中学校「緑の少年団」結成と同時に始まった取り組みで、今年は20年目にあたる節目の年でした。また、昭和時代の吉田中学校では「山林下刈り」と呼ばれて実施されていた伝統ある行事です。



作業説明

1年 森林学習

この事業の実施に当たっては、生徒会執行部の代表と各学年代表の8名が実行委員となり、森林組合職員の方の指導のもと、事前の打合せや用具の準備、区画割り作業など現地準備などに汗を流しました。

枝打ち・間伐の指導には、東部林業振興センター雲南事務所や市役所の農林振興課、吉田総合センター事業管理課、飯石森林組合雲南事業所から13名の方にお越しいただき、森林についての講話や実技指導など懇切丁寧に行ってくださいました。

1年生は初めての活動なので、事前に枝打ち・間伐の意義とそのやり方、森林保護・育樹について農林振興センターの方にガイダンスをしていただきました。空模様を心配しての作業となりましたが、実習の始まった午後からは、雨もすっかり上がり枝打ち・間伐日よりとなりました。



現場は急斜面

登るのが大変

## たたなづく 青垣 うるわしき ふるさと ～ 吉田中学校「校歌」一節より～

開会式の挨拶で、生徒たちに校歌の歌い出しの「たたなづく青垣、うるわしきふるさと」の歌詞を解説し、枝打ち・間伐活動を通して、一層ふるさとを愛する豊かな心が育つようにと願いました。

「たたなづく青垣」とは、ふるさとを取り囲む、美しい、緑豊かな山々の姿をたたえる言葉です。  
「たたなづく」は、折り重なるの意味。  
「青垣」とは青い垣根のように連なる山々のこと。  
「うるわしきふるさと」とは、ふるさとを愛しふるさとを誇りに思う言葉です。  
「うるわしき」温かみがあり愛おしいの意味。  
「ふるさと」とは生まれ育った土地、吉田のこと。



開会式

指導者の紹介や挨拶の後、学年ごとの打合せを行い、全校一斉に枝打ち間伐作業を行いました。

1年生は枝打ち作業、2・3年生は枝打ちと間伐作業を行い、直径20cm程度の木を伐採したりしました。この伐採した木は、総合的な学習の時間を使ってベンチや机に加工しています。山に囲まれている中で育った生徒とはいえ、実際に山に入り「のこぎり」や「なた」などを使って枝打ち等を体験するのは、この機会以外にはありません。急な斜面での間伐や高い箇所での枝打ちに、みんな汗だくになって作業していました。生徒たちは、この活動を通して、森林資源を守り育てることの重要性を身をもって感じ取ってくれたことでしょう。



枝打ち作業

間伐作業

ななかまどフェスタ = 吹奏楽部 =  
「崖の上のポニョ」  
”篤姫”のテーマ曲など演奏

10月26日(日)に開催された「ななかまどフェスタ」オープニングのスタートを吉中吹奏楽部が担当しました。当日は、野外ステージでの演奏を期待していましたが、あいにくの雨模様となり、急遽テントを増設した公民館入り口での開演となりました。会場には、雨の中にも関わらず大勢の方々が吉中サウンドや保育所の演技・小学生の合唱を楽しみに集まっていただきました。

吹奏楽部の演奏は、開会の力強いファンファーレに始まり、人気の大河ドラマ「篤姫」のテーマ曲を最初に演奏しました。語りかけるような柔らかな音色にドラマの一場面を思い起こしながら楽しんでもらえたのではないのでしょうか。

二曲目は、ちびまる子ちゃんのテーマソング「おどるポンポコリン」を演奏しました。雨の中、傘を持つ手を離し、手拍子をいただいた皆さんに部員たちは元気をもらいました。そして「津軽海峡冬景色」の演奏は、そば降る雨と相まって聴く人を魅了していました。



演奏する生徒

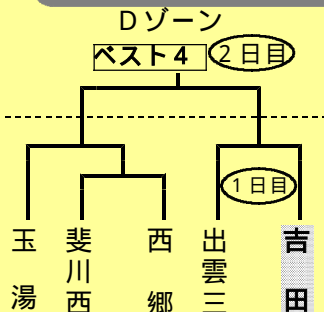


踊る園児

「崖の上のポニョ」の演奏には、保育所の園児の皆さんにリズムカルなメロディに合わせ、踊りを披露してもらい、会場は和やかな雰囲気になりました。保育所の皆さん可愛い踊りをありがとうございました。最後の曲「涙そうそう」では、大きな模造紙に歌詞を書き込み、演奏に合わせて会場の皆様に一緒に歌っていただきました。

雨の降る肌寒い中、演奏を聴いて大きな拍手をいただきました皆様に、衷心よりお礼を申し上げます。そして、吹奏楽部の1・2年生と3年生の有志の皆さん。皆さんの一生懸命な姿と音色に感謝の気持ちを感じ取ることができました。条件が悪い中での演奏、ご苦労様でした。

出雲地区大会組合せ バレー部



日時  
11月5・6日(水・木)  
1日目 13時頃  
2日目 9時頃  
会場  
安来市伯太体育館  
応援をお願いします

3年生が起業体験(生徒会が後押し)  
吉中“まいもん屋台村”  
ななかまどフェスタで大好評

「ななかまどフェスタ」の食品販売部門に、3年生が『吉田中学校 まいもん屋台村』を開設し、地域の皆さんと共に祭りを盛り上げました。この事業は、吉中生に地域の一員としての社会参加と、勤労観・職業観を養うことを目的に実施しました。資金援助は、生徒会が行い5店舗で6品を販売しました。

この屋台村、各店舗の出店に当たっては、伊藤教育支援コーディネーターのサポートを受け、企画書・予算書の作成、宣伝等の広報、商品材料の仕入れ・製造販売、収支報告書の作成まで、全てを生徒たちに任せました。

当日は、雨天の戸惑いや、オープニングへの参加などで、若干出遅れた店舗もありましたが、生徒たちの助け合いにより、どの店舗も商品を店頭に並べて販売することができました。

「おいでよクッキーの森」では、商品のクッキーを事前に袋詰めをしておき、タイミング良く店頭に並べ販売をしました。7個入り150円のクッキー袋が瞬く間に無くなり、店先には「完売。ありがとうございました」のお知らせが掲示されました。

GONCHAN亭「焼き鳥」では、炭が起こらず苦戦をしていましたが、その後は、予約に追われるほどの盛況でした。おこのみ屋「お好み焼き」では、準備も良好で、注文にスムーズな対応をしていました。アゲアゲ 堂「チョコばなな」では、バナナダイエットブームのため、バナナの仕入れが危ぶまれましたが、バナナの調達もうまくいき、美味しそうな「チョコばなな」の香りが漂っていました。

ぱん屋さんでは、準備が遅れましたが、他の店員さんの手助けもあり、とても美味しいサンドウィッチとドーナツができました。

どの店舗でも、一生懸命に働く生徒の姿と、お客さんの笑顔、そして収益も上げることができ、『吉田中学校 まいもん屋台村』は無事に閉店することができました。お買い上げいただきました、多くのお客様に深く感謝を申し上げます。なお、収益は生徒会と相談し、地域に還元したいと考えています。

当日は、都合により3名の生徒が参加できませんでしたが、事前の準備に積極的に参加するなど3年生全員による起業体験となりました。また、保健所への臨時営業届けの提出や、衛生面での食品製造・販売、不祥事に備えての保険への加入など多くのことを学ぶ機会にもなりました。



GONCHAN亭焼き鳥



ぱん屋さん